

服部病院だより

ー地域医療連携室便りー

秋号

2025年(令和7年)10月

基本理念 私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

- 基本方針**
1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
 2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
 3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
 4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
 5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくります。

地域医療連携室

0794-83-5327(直通)

泌尿器科疾患について

泌尿器科が担当する領域は尿路と男性生殖器です。そこに生じる感染症、腫瘍、機能不全・・・と、こんなものネットで調べればきっと詳しく書いてあると思います。そこで勝手にテーマを変更し、私の泌尿器科医としてのジレンマについて書こうと思います。

次のような症例があったとします。

85歳男性。特別養護老人ホームに入居中。座位はとれるが歩行は不可。年に2回程度の頻度で急性腎盂腎炎に罹患し、その都度1～2週間の入院治療を繰り返している。排尿はおむつ管理。今回入院時、膀胱に多量の残尿が認められた。腹部CT検査で両側の腎盂の拡張を軽度認める。血液検査で腎機能は正常である。

問題: この症例に対し医学的に最も推奨される排尿管理は次のうちどれか?

- ① 一日数回の間欠的導尿を行う ② 膀胱内にバルンカテーテルを留置し持続導尿とする
③ このまま特に何もしない

正解は①です。解説には次のように書かれています。

患者は膀胱内に多量の残尿を有し、これによる慢性的な下部尿路感染症と尿の渋滞による腎盂の拡張があるものと考えられる。上部尿路感染症と、さらに今後生じてくるであろう腎機能障害を予防するためには残尿をなくすることが重要であり、一日数回の間欠的導尿が望ましい。バルンカテーテル留置は異物留置に伴う膀胱・尿道の慢性細菌感染と異物の接触による局所の慢性炎症、および膀胱機能荒廃の原因となるので推奨されない。

医学的にはそうなのでしょう。しかし施設に退院後、誰がこの方の導尿を行うのでしょうか。一日に何回も。現実的に不可能となれば、解答の選択肢から最も望ましい①を消すしかありません。月に一回バルンカテーテルの交換が必要になるけれど腎盂腎炎と腎機能悪化を予防できるなら②でいいではないか。あるいは、その都度点滴治療で済むのなら、もう年齢的にも腎機能悪化には目をつぶってこのまま何もしない③の方が、皆がハッピーなのでは? という考えもあるかもしれません。では、最終的に誰が答えを決めるのでしょうか。本来なら医師、看護師、施設職員、ご家族(可能なら本人も)で話し合っ決めていくべきなのでしょうが、最終的に医師の判断に一任されることもあると思います。これはとても危険です。いくつかの選択肢がある中で泌尿器科医(自分)が何を選ぶのか。多数が納得できる選択ができていいのか? そもそも自分はまともなのか? そんなことを心配しながら日々診療にあたっています。

読んでくださった方、お付き合いいただきありがとうございました。

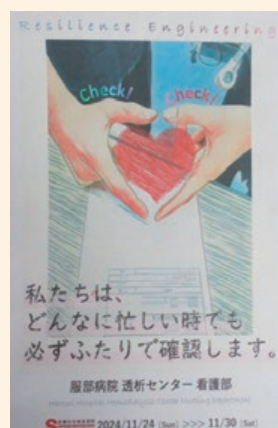
泌尿器科 樋口彰宏

服部病院における医療安全の取り組みについて

当院では、医療安全管理指針のもと、それぞれの医療従事者の個人レベルでの事故防止対策と、病院全体の組織的な事故防止対策を推し進めることによって、医療事故の発生を未然に防ぎ、患者さんが安心して安全な医療を受けられる環境や仕組み作りに取り組んでいます。

毎年、年間目標を掲げ、目標に向かって各部署で委員が中心となって事故防止に努めています。インシデントレポートの報告をもとに要因を分析し対策を立て、同じことが繰り返し起こらないように情報を共有します。

11月には医療安全対策強化週間を設け、部署毎に強化するためのポスターを作成、掲示し対策を強化しています。強化週間終了後は各部署のポスターを会議室に掲示し、職員投票により1～3位までを決定し表彰しています。



昨年度表彰されたポスターですが、年々、ポスターのレベルがアップしています。

私たちは、医療事故を防止するために、様々な場面で「指差し呼称」を徹底しています。

専任医療安全管理者 乃生 敏江

ICT委員会活動について

ICT委員会は院内での感染を防ぎ、患者さんやご家族、そして職員全体が安心して過ごせる環境を守るために活動しています。

医師や看護師、薬剤師、検査技師など様々な職種のスタッフが連携し、手洗いや消毒の徹底、院内の衛生チェック、感染症発生時の対応などを行っています。

また、職員への感染対策研修や情報の共有にも力を入れ、病院全体の意識向上を目指しています。感染対策は特別なことではなく、日々の小さな注意と継続が大切です。

これからもICT委員会は、皆さまが安心して医療を受けられるよう、見えないところでしっかりと支えてまいります。

ICT委員会委員長 長野 智子

回復期リハビリテーション病棟での取り組み ～園芸療法～



回復期リハビリテーション病棟では、入院中の患者さんに精神面の賦活化を図るために、園芸療法を取り入れています。患者さんと一緒に野菜や花を植え、育成し穏やかな入院生活を送って頂けるように取り組んでいます。今年の5月に花はマリーゴールド、サルビア、サファニア、ペチュニア、ベゴニアを植え、野菜はきゅうり、ししとう、ピーマン、ミニトマトを植えました。元気よく成長し、たくさんの実や綺麗な花を咲かせてくれました。リハビリもコツコツ続けることで患者さんの大きな実となることでしょう。

回復期リハビリテーション室 主任 櫻井 丈裕

秋に食べたい！

はっとりレシピ

南瓜のベーコン煮

材料(4人分)

南瓜(正味) 240g	有塩バター	小さじ1
ベーコン 20g	砂糖	2.4g
A	薄口醤油	小さじ1.5
	水	160ml
	鶏ガラスープの素	2.7g

作り方

- ① 南瓜を食べやすい大きさに切り、下茹でする
- ② ベーコンは短冊に切り、ベーコンを炒める
- ③ ①②にAを加え、柔らかくなるまで煮る



南瓜にはビタミンA・C・Eが豊富に含まれています。抗酸化ビタミンともよばれ、風邪予防や美肌効果が期待出来ます。



栄養科 北島・小林

服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間		月	火	水	木	金	土
内 科	9:00～ 12:00	一診	栗野孝次郎	那須正道	西 慎一	栗野孝次郎	山下幸政	武田侑己
		二診	小坂理恵子	藤田佳奈	福満隼人	那須正道	小坂理恵子	上田智朗(第1) 菅真紀子(第3・5)
		三診		武田涼輔 (脳神経内科)			的場 俊(第2・4) 城間京香(第1・3・5) (脳神経内科)	
	13:00～17:00(予約)			那須正道 (糖尿病専門外来)	関田憲一 (腎臓内科)			
	18:00～20:00		小坂理恵子		那須正道		栗野孝次郎	
外 科	9:00～12:00		服部哲也	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	三方彰喜	金澤成雄
	13:00～17:00					金澤成雄 (下肢静脈瘤専門外来)		
	18:00～20:00		(神戸大学)	服部哲也	高井 亮	服部哲也	三方彰喜	
整形外科	9:00～ 12:00	新患・リハビリ	楠 厳 (リハビリ) 角田雅也(新患)	楠 厳 (第1・3・5) 斯波卓哉(第2・4)	松宮 豊	斯波卓哉	楠 厳	松宮 豊 (新患・予約)
		予約	楠 厳	楠 厳 斯波卓哉(第3・5)	松宮 豊 斯波卓哉 (～10:00)	楠 厳	斯波卓哉	斯波卓哉 (予約・リハビリ)
	18:00～20:00			楠 厳		斯波卓哉	篠原一生	
脳神経外科	9:00～12:00		救急対応	林 宏	林 宏		庄瀬裕康	
	13:00～16:00		救急対応	救急対応	救急対応		救急対応	
泌尿器科	9:00～12:00		樋口彰宏					
	9:30～12:00			田代裕己 (第1・3・5) 松下 経(第2・4)				
	14:00～17:00				佐藤克哉			
婦人科	9:30～12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00～(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科診療室前に掲示してありますのでご注意ください。

(令和7年10月現在)

おいしいお店紹介

ALOHA STATE Hawaiian café

TEL: 090-9237-7051

住 所: 三木市志染町
中自由が丘1丁目47-1
営業時間: 火・水・木 9:00～16:30
金・土 9:00～21:00
駐車場: 3台完備



check!



Instagram
aloha.state.2020



関連施設

三郎記念クリニック

■ 診療科目: 人工透析・腎臓内科

透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフが
きめ細やかなサービスを提供します。

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1
駐車場完備

TEL. 079-423-2055 FAX. 079-423-1256

服部病院診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・脳神経内科・脳神経外科・
外科・心臓血管外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・
放射線科・人工透析(夜間透析あり)・人工透析外科、24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会

服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚218-3

TEL. 0794-82-2550 FAX. 0794-82-4399

https://www.hattori-hospital.com

当誌は、
ホームページでも
ご覧になれます。

服部病院

検索